

軽水炉燃料等の安全高度化ロードマップ検討 WG
グループ 2（「安全解析手法の高度化」）の検討状況について

1. これまでの会合等実績
 - ・第 1 回会合 平成 27 年 8 月 19 日
 - ・第 2 回会合 平成 28 年 8 月 9 日
 - ・第 7 回全体会合 平成 28 年 9 月 1 日（配布 補足資料を添付）
 - ・原子力学会 2016 年秋の大会 企画セッション 平成 28 年 9 月 9 日 @久留米
2. 検討内容：
 - 2.1 検討対象：
 - ・安全解析（含む燃料挙動）手法に係る全般
 - ・レベル 1 からレベル 4 まで広範な深層防護レベルでの評価手法が対象
 - レベル 1～レベル 3 までは、主に燃料挙動、DBA 安全解析評価手法（許認可解析手法及びそれを補完する詳細手法等も対象）
 - レベル 4 では、シビアアクシデント時の溶融後の炉心挙動や SFP での燃料挙動や冷却性評価手法が主に該当
 - ・他の Gr での検討との重複、インターフェイスとなる事項が含まれる。
 - 2.2 課題抽出資料：
 - ・平成 25 年度 核燃料部会で作成した研究開発課題表
 - ・平成 26 年度 核燃料部会で作成した課題調査票
 - ・学会熱流動部会 ロードマップ
 - ・溶融燃料 WG の技術戦略マップ
 - ・使用済燃料プールの冷却材喪失に関する OECD-NEA の Status Report 等
 - 2.3 検討状況と予定（H28/9）時点
 - ・検討状況：
 - ・課題の再抽出（他分野とのインターフェイスに配慮）
 - ・深層防護レベルごとの具体課題割り付け
 - ・予定
 - ・深層防護ごとの課題の体系化
 - ・時間軸（短期、中期、長期）への展開
 - ・課題調査票への反映及び他の作業部会等（設計作業部会、アクシデントマネジメント作業部会など）のローリング検討に反映。

以 上